

12月



たいせつ
【大雪】12月7日～12月21日頃

ひとつ前の「小雪」に対して、大雪は本格的に雪が降りだすことを意味します。寒さと年の瀬の疲れに負けないよう、体調に十分注意したい時期です。

とうじ
12月の行事【冬至】12月22日頃

【冬至】12月22日頃

北半球では一年の中で最も昼が短い日。冬至には無病息災を祈ってかぼちゃを食べたり柚子湯に入ったりします。かぼちゃを食べるのは、栄養豊富なかぼちゃを食べて寒い冬を元気に乗り切るため。柚子湯に入るのは体を温めて風邪を引きにくい体をつくるためです。

旬の花【ポインセチア】——【花言葉】祝福、聖夜、幸運を祈る——

ポインセチアは花と^{ほう}穂の形が「ベツレヘムの星」を連想させる、まさにクリスマスの花。ベツレヘムの星とは、東方の三博士にイエス・キリストの誕生を知らせた星で、キリスト教徒にとって宗教的な意味を持ちます。寒さに弱いので、窓際の温度が下がる夜間は部屋の中央に移動しましょう。

12月の本「神さまの貨物」 ジャン＝クロード・グランペール／著

大きな暗い森に貧しい木こりの夫婦が住んでいた。きょうの食べ物にも困るような暮らしだったが、おかみさんは「子どもを授けてください」と祈り続ける。そんなある日、森を走りぬける貨物列車の小窓があき、雪のうえに赤ちゃんが投げられた——。明日の見えない世界で、託された命を守ろうとする大人たち。こんなとき、どうする？ この子を守るには、どうする？ それぞれが下す人生の決断は。読む者の心を激しく揺さぶらずにおかない物語。



出典:ポプラ社 場所:ティーンズコーナー(9537)